

平成 20 年 度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 横浜市旭区社会福祉協議会

平成20年度 横浜市旭区社会福祉協議会事業報告書

助け合い、ともに生きる豊かな地域社会づくりを

1 地区社会福祉協議会への活動支援

1) 地区社協活動支援

地区社協活動の推進を目的に、各地区社協からの相談に応じて情報提供や助成金の交付等を行った。

- 運営・事業推進のための助成費 ((@200,000+@50,000)×19地区)
- 地域福祉講座の助成費 (@20,000×8地区, @10,000×1地区)
- 地区カルテを作成した。
- 地区担当制を実施した。

2) 地区社協事務局長会議の開催（開催場所：ぱれっと旭）

地区社協活動の推進を目的に、より具体的な研究協議および実務に関わる情報交換や連絡調整を行った。（地区社協会長会議は分科会としてP13に掲載）

開催月日	内 容	出席	結果
4月24日（木）	1. 平成20年度地区社協関連助成金について 2. 意見交換「社協PR方法について」	17人	議案は原案どおり承認された。
6月26日（木）	1. 地区社協カルテについて 2. 第28回旭区社会福祉大会について 3. 意見交換「人材育成について」	16人	各議案は原案どおり承認された。
8月28日（木）	1. 第28回旭区社会福祉大会に伴う被表彰者の推薦について 2. 共同募金協力依頼について 3. あさひ活動塾について 4. 情報交換「地区社協役員構成の現状について」	17人	各議案は原案どおり承認された。
10月23日（木）	1. 平成20年度共同募金「街頭募金」ご協力へのお礼 2. 地区社協役員研修について 3. 第28回旭区社会福祉大会について 4. あさひ活動塾について 5. 意見交換「事務局スタッフ・事業実施協力ボランティアの募集・育成について」	18人	各議案は原案どおり承認された。
12月8日（木）	1. 市社協主催地区社協役員研修について	15人	議案は原案どおり承認された。
2月26日（木）	1. 平成21年度地区社協事務局長会議について 2. 情報交換「賛助会費募集方法の現状について」	14人	議案は原案どおり承認された。

3) 地区社協事務局長会議ワーキンググループ話し合いの開催（開催場所：ぱれっと旭）

地区社協事務局長の小グループによる検討会を開催し、地区社協の様々な課題解決の手だてとなるよう自由な意見交換の場を設けた。

開催月日	内 容	出席
9月30日（火）	今後の検討内容・人材についての現状確認	4人
10月28日（火）	地区社協体制検討、新しい人材の発掘・育成について	4人
11月19日（水）	地区社協体制について	4人
12月15日（月）	地域福祉講座・研修状況について	3人
1月26日（月）	事務局長会議の持ち方について	3人
2月17日（火）	行事への関わり、次年度のワーキングについて	4人
3月24日（火）	各地区社協事業について、地区カルテの活用について	3人

4) 地区社協関係研修等の開催

開催月日 開催場所	内 容	出席
12月8日(月) ぱれっと旭 多目的研修室	役員研修 「この町が好き」と言えるまちづくり-地域はつながるでまとまる ・全国社会福祉協議会 前民生部長 山田宜廣氏による講義 ・6グループでのワークショップ ①地区の地域福祉課題 ②要援護者の情報把握	52人
2月27日(金) 新都市ホール	市社協主催研修「地域づくりの知恵袋～お伝えします！地区社協活動に活かせる「あの手」「この手」のヒント集～」 取り組み事例紹介 ①鶴見区市場地区社会福祉協議会 ②港北区日吉地区社会福祉協議会 ③瀬谷区阿久和北部地区社会福祉協議会	73人

事業の 目的	区内19地区社会福祉協議会の活動の助成や実務者レベルの事務局 長会議の開催により、よりよい地 域活動を支援する。	事業の 効果	実務者レベルの地区社協事務局長会議を継続的 に実施。テーマを決め事前にアンケートを実施 し、その結果をもとに意見交換をし事業発展に つながるように支援した。
-----------	--	-----------	---

2 福祉啓発事業の推進

- 1) 広報紙「あさひいきいき宣言(旭区社協だより)」の発行
 ○年2回発行 {10月(第71号)・3月(第72号)}
 ○71号(95,000部)、72号(94,000部)全世帯へ配布(自治会・町内会の協力により配布)
 ○第71号の特集：障害者地域作業所紹介
 ○第72号の特集：地域サロンの紹介

<広報委員会> (開催場所：ぱれっと旭)

開催月日	議 題	出席
6月4日(水)	第1回広報委員会 1. 委員長・副委員長の選任について 2. 「あさひいきいき宣言(旭区社協だより)」(第71号)について 3. 今後の予定について	9人
7月3日(木)	第2回広報委員会 1. 取材対象・取材者について 2. 今後の予定について	10人
8月27日(水)	第3回広報委員会 1. 取材報告 2. 全体調整・レイアウトについて	8人
10月1日(水)	あさひいきいき宣言(旭区社協だより)第71号発行	
11月17日(月)	第4回広報委員会 1. 「あさひいきいき宣言(旭区社協だより)」(第71号)の振返り 2. 「あさひいきいき宣言(旭区社協だより)」(第72号)について 3. その他	6人
12月24日(水)	第5回広報委員会 1. 取材先・取材者について 2. その他	8人
1月28日(水)	第6回広報委員会 1. 取材報告 2. 全体調整・レイアウトについて 3. 今後の予定について	8人
3月1日(水)	あさひいきいき宣言(旭区社協だより)第72号発行	

2) 第19回旭ふれあい区民まつりへの参加

開催月日	平成20年10月26日(日)
開催場所	旭区役所周辺(鎧の渡し緑道、駐車場等)
内 容	1. 福祉ふれあいバザー出店者会議(9月26日開催) 2. 福祉ふれあいバザー：8団体の模擬店出店 3. 福祉体験コーナー：4団体参加協力(手話・車椅子・高齢者疑似体験・目隠しホットケーキ) 4. 心のバリアフリーカレンダーの販売

3) 地域福祉活動情報ネットワーク事業

事業	実施日	実施場所	内容	備考
旭区社協 ホームページ 更新作業	原則毎月4回の更新	ぱれっと旭	ホームページの各種ページの更新	実施・協力 PCどりーむ

(単位：件数・回)

	18年度	19年度	20年度
更新回数	50	47	48
アクセス件数 (ただし、2月は故障のため カウントできず)	29,730	27,963	23,184

(ホームページの閲覧実績については <http://www.palletasahi.jp/count.html>を参照)

事業の 目的	福祉の啓発と旭区社協の活動をより多くの地域の方々に知っていただき、地域福祉の推進の一歩とする。	事業の 効果	ホームページのリニューアルを行った。
-----------	---	-----------	--------------------

3 第28回旭区社会福祉大会の開催

開催月日	平成20年12月3日(水)		
開催場所	旭公会堂 講堂	参加者	464人
内容	1. 旭区社会福祉功労表彰・式典 地域福祉功労52件 寄付金品功労6件 在宅介護功労11件 2. 旭区内で活動する2ボランティア団体、2地区社協が各々の活動に関するステージ発表をおこなった。 3. アトラクション ①介護寸劇 ②歌声喫茶 4. 15のグループ・団体が大会冊子に、その活動内容を掲載した。 5. 15のボランティアグループ・施設・作業所などがロビー等に出展した。		

<表彰審査委員会>

開催月日	議 題	出席
11月7日(金)	1. 旭区社会福祉功労表彰審査 2. 記念品選定	7人

<実行委員会>

開催月日	議 題	出席
8月26日(火)	1. 正副委員長の選任について 2. 大会の内容について 3. 発表者について 4. 当日の流れについて 5. 今後のスケジュールについて	9人
9月25日(木)	1. 進行状況について 2. ポスター、チラシについて 3. その他	9人
11月27日(木)	1. 分科会報告について(発表分科会、実行分科会) 2. 現在の状況について(冊子、展示会場、ポスター)	11人

<発表分科会>

開催月日	議 題	出席
11月26日(水)	1. 当日の流れ 2. 発表方法 3. 発表内容調整 4. その他	7人

<実行分科会>

開催月日	議 題	出席
11月26日(水)	1. 社会福祉大会について 2. 役割分担、当日の流れについて	17人

4 災害時のバリアフリー化の推進

<災害ボランティア勉強会>

開催月日	平成20年4月16日(水)・7月30日(水)・10月15日(水) 平成21年1月21日(水)		
開催場所	ぱれっと旭	参加者	延べ251人
内 容	ボランティア分科会員をはじめとする本会会員を対象に、災害時のボランティア活動についての理解を深めることを目的として、日頃からの災害時への備え(わが身を守ること・いざというときに助け合えるネットワークの構築)の必要性や災害ボランティアコーディネートに関する勉強会を実施した。		

<旭区災害ボランティア連絡会(仮称)第1回設立準備会の開催>

開催月日	平成21年2月26日(木)		
開催場所	ぱれっと旭	参加者	13人
内 容	災害ボランティアコーディネーターとして登録した災害ボランティア勉強会参加者の有志を対象に、連絡会の趣旨・地域防災拠点の役割等に関する説明会および意見交換を実施した。(旭区役所との協働)		

<救命救急講習会>

開催月日	平成20年9月17日(水)・11月20日(木) ※ボランティア対象 平成20年9月22日(月)・平成21年2月4日(水) ※施設職員対象		
開催場所	ぱれっと旭	参加者	111人
内 容	本会会員(施設・地域作業所等職員、およびボランティア)を対象に、災害時の区民の救命率向上を目的として、心肺蘇生法・異物除去・止血など応急手当の講習会を実施した。(旭消防署・日赤旭区地区委員会との共催)		

5 福祉施設との充実した連携

<あさひで働こう!福祉施設等就職説明会>

開催月日	平成20年11月11日(月)		
開催場所	ぱれっと旭	参加者	20施設/60人
内 容	福祉施設等に就職を希望される方、福祉の仕事に関心のある方を対象に、本会施設分科会員の施設・団体が、就職説明のブースを設置し、説明相談を実施した。(旭区役所後援)		

6 旭区社会福祉協議会活動計画に基づいた事業の推進

区社協は地域福祉活動計画に基づいた地域福祉増進に向けた様々な取り組みを地区社協、自治会町内会、民生委員・児童委員、ボランティアや地域住民等の協力を得ながら協働実施を行いました。また、旭区地域福祉保健計画の具体化への協働事業として、人材育成・資金援助について区役所とともに実施した。

みんなでボランティア活動を

1 ボランティア活動の推進

1) ボランティアコーディネート業務の推進

○ボランティア依頼状況 (単位: 件数・人)

依 頼 内 容	依頼件数		
	18年度	19年度	20年度
単発二ード	236	229	289
定期二ード	66	52	34
合 計	302	281	323

○個人ボランティア新規登録状況 (単位: 人)

	18年度	19年度	20年度
男	23	37	33
女	70	85	83
合計	93	122	116

○ボランティアグループ登録状況 (単位：団体)

18年度	19年度	20年度
125	124	143

○旭区ボランティアセンターだよりの発行

発行	年2回発行 (9月・3月に班回覧)
内容	ボランティアセンターやボランティアグループの活動紹介、講座の広報など

○旭区ボランティアセンターメールマガジンの配信

配信	隔月配信 (4月・6月・8月・10月・12月・2月)
内容	ボランティア情報、講座案内、助成金情報など

2) あさひ活動塾の開催

目的	地域におけるサロン(地域での交流ができる場所)づくりのボランティア人材の発掘育成等を目的とする。
期日	平成20年11月29日、12月13日、12月20日(全3回)
場所	旭区福祉保健活動拠点(ばれっと旭)
内容	講演会、サロンづくりのノウハウを学ぶワークショップなど
参加状況	受講者数 延べ83人
講座後の動き	既に地域で活動をしている参加者が多かったが、サロンについて初めて学ぶ方の参加も得られた。現在活動している人にとっては、現在の活動を振り返り、活性化に向けた活動の在り方を考える機会となり、活動意欲を高めることができた。
結果	参加者同士の横のつながりの形成と、それによるサロン活動への意欲の向上については評価できると考える。今後は、交流会や勉強会、サロンの見学等の形態で、活動の支援をしていくことを検討している。

3) 各種講座・研修会の開催

○ボランティアミニ講座

目的	体験を通じて、ボランティア活動にふれる機会を作ることを目的とする。
期日	平成20年4・6・9・12月、平成21年2月 第4土曜日 (計5回)
場所	旭区福祉保健活動拠点(ばれっと旭)
内容	車椅子体験、高齢者擬似体験
参加状況	受講者数 延べ24人
講座後の動き	講座参加者に対し、ボランティア登録などを勧めた。
結果	ボランティア活動の導入として来所者に受講をうながすことで登録や活動につながっている。しかし、全体的には、参加者が少ないため、今後もPR方法の検討が必要。

○傾聴ボランティア講座

目的	ボランティア活動を行う上で基礎となる「傾聴」について学びを深め、今後の活動に活かすことを目的にします。
期日	平成20年10月10日、17日
場所	旭区福祉保健活動拠点(ばれっと旭)
内容	「傾聴」の基礎
参加状況	受講者数 延べ53人
講座後の動き	講座参加者に対し、ボランティアセンターから活動紹介を行うとともに、傾聴ボランティアグループへの入会を勧めた。
結果	講義だけではなくワーク形式を取り入れることで、講座参加者からも大変好評を得た。来年度以降、ステップアップ講座の開催を検討することも必要。

○知的障害者余暇支援ボランティア講座

目的	旭区夏休み障害児余暇支援事業「かりあーず」を中心に活動をする方に障害についての理解を深めることを目的にします。
期 日	①平成20年7月9日（水）、②7月21日（月）、③7月29日（火）
場 所	①旭区福祉保健活動拠点（ばれっと旭）、②若葉台地域ケアプラザ、③鶴が峰地域ケアプラザ
内 容	知的障害疑似体験など
参加状況	受講者数 延べ89人
講座後の動き	障害がある子どもたちと接する機会「かりあーず」への参加。
結 果	地域ケアプラザとの共催で実施することにより、余暇支援事業の現状について関係機関の方々に知っていただく足がかりとなった。

○ボランティアミニ講座（手話編）

目的	体験を通じて、ボランティア活動にふれる機会を作ることを目的とする。
期 日	平成20年8月1日（金）
場 所	旭区福祉保健活動拠点（ばれっと旭）
内 容	ボランティアの手話体験講座
参加状況	受講者数 延べ7人
講座後の動き	講座修了後、ボランティア登録を勧めた。また、ボランティアに関する様々な情報提供を行った。
結 果	参加者の満足度は高く、講師を依頼したサークルへの入会希望者も出ていた。ただし、周知については、広報区版以外の媒体を活用することも必要。

○おもちゃドクター養成講座

目的	団塊の世代が特技を生かして、ボランティア活動に携わるきっかけづくりを目的とする。
期 日	平成20年11月10日（月）、17日（月）
場 所	旭区福祉保健活動拠点（ばれっと旭）
内 容	おもちゃの修理について、おもちゃ病院の活動について
参加状況	受講者数 延べ22人
講座後の動き	講座終了後、昨年度の講座で立ち上げた「ばれっと旭おもちゃ病院」の活動紹介と入会案内を行った。
結 果	おもちゃドクターの知名度も上がってきており、活動意向のある参加者も多く見受けられた。

4) 備品貸出

(単位：件)

	車いす	アイマスク	白杖	点字器	疑似体験物	布おもちゃ	合計
20年度	67	5	0	1	16	34	123
19年度	79	2	0	2	17	26	126
18年度	50	13	8	2	23	6	102

事業の目的	ボランティア活動の活性化と、より多様化するニーズに対応する活動の推進	事業の効果	潜在する地域の活動者に対して、啓発的な事業を展開することができた。障害等、ニーズの多い活動に対して対応できる素地をさらに広めることが必要と思われる。
-------	------------------------------------	-------	--

2 福祉教育の推進

1) 福祉施設夏期体験学習

目的	次世代の「福祉の担い手」である中学生が福祉現場での体験を通し、基礎的な福祉への理解を習得することにより福祉のまちづくりの一助とする。
内容	旭区内の社会福祉施設での体験実習 1 コース 5日間（各施設で計画されるプログラムに沿って活動）
実施期間	平成20年7月28日（月）～8月16日（土）
実施状況	受け入れ施設26施設、参加者 区内中学校9校 2・3年生67人
研修	事前：7月19日（土）ぱれっと旭多目的研修室 参加者 中学2・3年生 54人 内容：①オリエンテーション②体験に伴う諸注意などについて職員より説明 事後：8月23日（土）ぱれっと旭多目的研修室 参加者 中学2・3年生 50人 内容：グループワーク「大きな木」

2) 福祉教育相談状況

相談件数	区内小学校11件・中学校6件・高等学校2件・その他2件
主な内容	○盲導犬ユーザーの講師の派遣等に関する調整の実施。 ○車いす体験、片麻痺体験、白内障体験など、種々の体験授業の実施。 ○手話講座の開催にあたり、講師派遣調整の実施。 ○車いす体験、ならびに車椅子ユーザーの講師の派遣等に関する調整の実施。 ○高齢者施設で働く人の講演開催にあたり、講師派遣等の調整の実施。 ○社協の役割に関する講演の実施。

※ その他、電話や窓口における多様なボランティア相談に各担当より対応した。

3) 福祉教育研究会

開催月日	開催場所	内 容
2月12日 （木）	ぱれっと旭 多目的研修室	講演会 テーマ「地域と学校、施設のつながり」 講 師：師 康晴氏（社会福祉法人杜の会 SELP.社 中野地域ケアプラザ総合センター長） 参加者：学校15人、施設17人、地域57人

4) 福祉教育推進隊

開催月日	開催場所	内 容	出席
3月12日 （木）	ぱれっと旭 団体交流室	1. 講演会の振り返り 2. 平成21年度の福祉教育推進隊について	6人

事業の目的	「福祉教育推進隊」とともに福祉教育について各関係機関と連絡調整をすすめる。	事業の効果	学校からの依頼に対し、地域グループや他機関との連携を持つことができ、スムーズな調整ができた。また、福祉教育研究会では、学校や施設をはじめ、多くの地域関係者の参加があり、高齢・障害・児童など福祉の分野を越えた地域福祉についての共有化ができた。
-------	---------------------------------------	-------	--

みんなが取り組む自立と参加

1 在宅福祉活動の推進

1) 食事サービス活動支援事業

食事サービスグループ活動の充実を目的として研修会や連絡会運営の支援をした。

開催月日	開催場所	内 容	出席
6月24日 （火）	ぱれっと旭	1. 旭区社会福祉大会について 2. 連絡会研修会について	28人
2月18日 （水）	ぱれっと旭	1. 次期食事サービス連絡会会長・副会長の選出について 2. 任期満了に伴う次期区社協役員・各種委員候補者の推薦について 3. 平成21年度食事サービス連絡会事業計画について	26人

2) 地域での支えあい活動の支援

区や地域ケアプラザ等と協働して、地域での支えあい活動の支援を行った。

3) 旭区徘徊高齢者SOSネットワーク事業の推進

「旭区の認知症を考える会」に参加し、認知症のPRや事業化に向けた検討を行った。

2 「おでかけ支援事業」(送迎サービス事業)の推進

1) ボランティア登録状況

(単位:人)

	運転ボランティア	同乗ボランティア	合計
登録者数	42	8	50

2) 送迎サービス利用者登録状況

(単位:人)

年度	18年度	19年度	20年度
登録者数	177	206	241

3) 年度別送迎利用状況

(単位:件)

送迎先	年度	18年度	19年度	20年度
高齢・難病患者等		583	624	946
障害者等		842	627	660
合計		1,425	1,251	1,606

事業の目的 在宅生活で一人で出かけることのできない障害者・高齢者の外出を支援する。

事業の効果

介護保険利用者(高齢者)の方への周知が進んできたためか、新規の利用登録者数が大幅に増加した。

3 心身に障害のある方々への支援

1 在宅障害児サポート事業

旭区夏休み障害児サポート事業連絡会を関係機関と設置し、区内8地域ケアプラザとともに、ボランティアの協力を得て、夏休みの余暇支援「かりあーず」を実施。全体で延362人(うちボランティア246人)の参加があった。ほか、春休みに1地域ケアプラザと合同で1コース実施した。

1) 夏休み余暇支援事業「かりあーず」(区社協コース)

開催日	①平成20年8月6日(水)、7日(木) ②平成20年8月19日(火)、20日(水)
障害児参加数	①16人(延べ) ②16人(延べ)
ボランティア参加数	①30人(延べ) ②32人(延べ)
内容	夏休みを利用し、日帰りで障害児がボランティアとの交流を図った。 ①②ともに 室内遊び、プール、湘南台文化センターへ外出

2) 「かりあーず」春コース

開催日	平成21年3月27日(金)
開催場所	旭区福祉保健活動拠点「ばれっと旭」、東芝科学館
障害児参加数	10人
ボランティア参加数	21人
内容	春休みを利用し、ボランティアと子どもが借り上げバスによる外出レクを通じて交流を深めた。

事業の目的	障害児の余暇支援及びその家族へのサポートを目的とする。	事業の効果	区内の8地域ケアプラザとともに事業を行い4年目を迎えた。今年度から法人型地域活動ホームの余暇支援事業の開始により、区域での事業実施が重層的になった。事業終了後、区内地域ケアプラザ・法人型地域活動ホーム・養護学校等のより一層の連携充実に向け、検討会を11月から2月にかけて4回開催。その結果、21年度は実行委員会方式で事業実施することとなった。
-------	-----------------------------	-------	---

2 あさひバリアフリー検討会の実施

1) 検討委員会（開催場所：ぱれっと旭）

回数	開催日	検討内容	出席
第1回	5月15日 (木)	2009年心のバリアフリーカレンダー作成について（テーマなど） 災害時のバリアフリー化の推進について	7人
第2回	9月24日 (水)	2009年心のバリアフリーカレンダー作成について （絵の掲載・原稿・レイアウト）	5人
第3回	3月6日 (金)	2009年心のバリアフリーカレンダーへのご意見・ご感想 平成21年度活動計画について	5人

2) 心のバリアフリーカレンダー作成

区内小学校に絵の募集をし、心のバリアフリーカレンダーを2,500部作成。
各小学校・自治会・町内会、公共機関に配布し、啓発活動を実施した。

事業の目的	障害のある方へのバリアフリーについて検討し住み良い旭区をめざして、意識作りを進める。	事業の効果	「心のバリアフリー」カレンダーを作成し、小学校や地域に啓発活動を行った。
-------	--	-------	--------------------------------------

3 作業所連絡会の開催（開催場所：ぱれっと旭）

	開催日	内容
第1回	2月16日 (月)	・ぱればれフェスタについて ・旭区地域自立支援協議会について ・横浜開港150周年記念イベント参画へのお誘い 参加団体：7団体

4 ぱればれフェスタの実施

平成20年6月19日（木）～21日（土） 入場者数：740人

目的：区民に区内地域作業所等の内容や障害についての理解を深めていただく。

内容：作業所紹介パネル展示・製品販売・喫茶コーナー・ミニコンサート（ハモカ）

<実行委員会>

開催月日	議題	出席
4月2日（水）	1. 参加状況、内容の確認について 2. 役割分担について	8人
6月5日（木）	1. 準備・撤収について 2. 当日の確認事項について	13人
7月16日（水）	1. アンケート集計報告 2. 今後の方向性について	11人

5 旭区地域自立支援協議会への参加

障害のある方への相談支援の体制を検討するための旭区地域自立支援協議会に事務局として加わり、区内関係機関の参加による合同会議および専門部会（身体・知的／相談職種）を開催し相談課題や具体の取り組み策の検討を行うとともに、相互の連携を強めた。

（活動内容）合同会議7回、専門部会6回、代表者会議1回、事務局会議12回

旭区地域生活フォーラム、合同研修会、進路連絡会の開催

事業の目的	旭区地域自立支援協議会は、区内の障害児・者の生活支援のために関係機関と連携し、顔の見える関係づくりを基盤に、誰でも、いつでも開催できる個別ケア会議の仕組みをつくることをねらいとする。	事業の効果	各専門部会では事例検討を中心にすすめ、合同会議には26か所の関係機関が参加し、区域内の課題の共有に努めた。ほか関係機関の連携を深める各種事業（フォーラム・研修会・進路連絡会）を開催した。作業所連絡会では、地域作業所等の内容を知り障害の理解を深めるイベント「ばれればれフェスタ」を連携して継続実施。
-------	---	-------	--

4 「旭区社協あんしんセンター」事業の推進

ご自分ひとりで、金銭や財産関係書類等の管理が不安な高齢者や障害のある方々のために生活や金銭管理等の相談に応じ、契約に基づいたサービスの提供を進めた。この事業のPRを進めるとともに困難ケースについて、各関係機関と連携を進めた。

(単位：件数・人)

		18年度	19年度	20年度
初回相談件数		46	56	63
サービス	定期訪問・金銭管理サービス件数	14	20	25
	預かりサービス件数	4	5	8
利用者総数		14	20	25
新規利用者数		4	7	8

◎PR活動・講演会

7月11日（金）「地域で暮らす高齢者の権利擁護」福寿荘（高齢者福祉大学）75人

5月1日（木）「あんしんセンターってなあに？」福寿荘（生活ミニ講座）53人

2月1日（日）「男性料理入門とミニ講座」万騎が原地域ケアプラザ 7名

事業の目的	日常的な金銭管理などが困難な高齢者、障害者を対象に金銭管理などのサービスを行う。	事業の効果	相談件数は増加した。また、契約件数も新規契約者が増えたため、増加した。今後も事業へのPRを進め、関係機関との連携を強化していく。
-------	--	-------	--

5 低所得者・罹災者等への支援事業

1) 貸付事業の推進

○生活福祉資金貸付事業

	18年度	19年度	20年度
相談件数	107件	76件	96件
貸付件数	2件	4件	1件
貸付決定額	441,000円	1,402,000円	82,000円

○離職者支援資金貸付事業

	18年度	19年度	20年度
相談件数	8件	1件	15件
貸付件数	2件	0件	1件
貸付決定額	3,200,000円	0円	2,400,000円

○長期生活支援資金貸付事業

	18年度	19年度	20年度
相談件数	9件	12件	9件
貸付件数	0件	0件	0件
貸付決定額	0円	0円	0円

2) 災害見舞金の交付

区内在住で火災等の罹災者に見舞金を交付した。

○平成20年 計10件 170,000円

○平成19年 計4件 40,000円

○平成18年 計10件 240,000円